



2021年2月18日

第一生命ホールディングス株式会社

「第23回 日経アニュアルリポートアワード」優秀賞を受賞

第一生命ホールディングス株式会社(社長:稲垣 精二)が発行した「第一生命ホールディングス アニュアルレポート 2020」が、日本経済新聞社の運営する第23回 日経アニュアルリポートアワードにおいて、『優秀賞』を受賞しました。当社は2016年より本アワードに参加していますが、今回が当社にとって初めての受賞となりました。

「日経アニュアルリポートアワード」は、日本企業の発行するアニュアルレポートの更なる充実と普及を目的として、1998年より毎年開催されています。現役の機関投資家・アナリスト等が参加企業のアニュアルレポートを審査し、優秀企業を表彰しています。23回目となる今回は132社が参加し、グランプリ1社、準グランプリ3社、特別賞3社、優秀賞14社が選ばれました。

当社の受賞理由として、主に下記の点が高く評価されました。(審査コメントより)

トップメッセージの戦略と社外取締役座談会が充実

- 生保業界を取り巻く大きな環境変化に正面から向き合ったトップメッセージが印象的。
- 11ページに及ぶ社外取締役の座談会は内容が濃く、投資家の知りたい情報をカバーしている。
- 持続可能性会計基準機構(SASB)インデックスによる開示は先進的。

当社は引き続き、ステークホルダーの皆さまに当社グループをより一層ご理解いただけるように、統合報告書をはじめ、公平かつ適時・適切な情報開示に努めてまいります。

(ご参考)

本レポートは当社ホームページでご覧いただけます。

<https://www.dai-ichi-life-hd.com/>

本賞に関する詳細は主催者ホームページをご覧ください。

<https://adnet.nikkei.co.jp/a/ara/>



以上